

実施日： 5月11日（3～4校時 1年生、5～6校時 2年生） 9月2日（3～4校時）	
領 域： 総合的な学習の時間	
取組名： ①人権講演会 「映像の世界はフィクションだ！」～アクションからいじめを考える～講師：末岡新太郎 ②情報教育講演会「インターネットにひそむ危険性」 講師：篠原嘉一	
対 象： ①1・2年生 ②全校生	実施場所：①、②とも体育館と各教室
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 命や人権を守り、いじめや暴力のない人間関係を作ろうとする意欲を持たせる。 ・ インターネットや SNS を使ってできることを知り、トラブル防止のルール必要性を考えさせる。 	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <p>①（1） 講演（映画の世界がフィクションである。映画やテレビ、マンガ、アニメ、ゲームの中での命と実際の命の違い。犯罪がおきる時の共通点や法則など）</p> <p>（2） 映像のトリックを体験。数名にアクション（殺陣）を体験し披露。</p> <p>（3） 全員でソフトちゃんばらを通して痛みについて感じ、考える。</p> <p>（4） 学級でディベート。感想文を書く。</p> <p>②（1） 講演（インターネットでできる便利なツールなどやその中にひそむ危険性をスマホを使って検証したり、事件になったことをニュース記事を映像で見せて解説。トラブル防止の方法やルール作りの必要性や事例について）</p> <p>（2） 学級で話し合い。感想文を書く。</p>	
ウ 連携先：① Safety For Smile【株】 ② NIT 情報技術ネットワーク【株】	
エ 連携にむけての取組： <p>それぞれの講演前に講師に本校生徒の実態を伝え、人権尊重の育成の観点から、いじめ防止や SNS のトラブル防止、さらに生徒がネットルールの必要性に気づき、自発的にルール作りに取り組もうとする意欲育成を依頼した。</p>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動や技術家庭科や道徳の授業でも、いじめや SNS などのトラブル防止、ネットモラルについて学習している。しかしながら、ネット機器の進化はめざましいものがあり、7年前から年1回～2回、外部の講師をお願いして、情報教育を定期的に行っている。 ・ 学期ごとに、生活アンケートをとり、睡眠不足の原因や体調や成績との関係などを検証して、学校保健委員会で発表したり、保健便りなどで生徒に投げかけている。 ・ カウンセラー便りでこころの状態チェックをする機会もあり、教育相談に活かしている。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめアンケートや感想 ・学級通信 ・生活アンケート ・保健便り ・カウンセラー便り 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで遊びだと考えていた行為が、命にかかわる大きな事件になるかもしれないし、「いじめ」＝「犯罪」であり、許してはいけないという意識が浸透し、いじめの事象も少なくなっている。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々進歩し続ける情報機器や新しいサービスに対応した情報モラルやリテラシーを正しく理解させ、保護者や家族にも広めていく必要がある。 	